

**2015年度（2016年3月期）
第4四半期 決算説明会**

2016年4月28日

セイコーエプソン株式会社

■ 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なりスクや不確定要素を含んだものです。そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与えうる要素としては、日本および海外の経済情勢、市場におけるエプソンの新商品・新サービスの開発・提供とそれらに対する需要の動向、価格競争を含む他社との競合、テクノロジーの変化、為替の変動などが含まれます。

なお、業績等に影響を与えうる要素は、これらに限定されるものではありません。

■ 事業利益について

事業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

連結包括利益計算書上に定義されていない指標であるものの、日本基準の営業利益とほぼ同じ概念であることから、連結財務諸表の利用者がエプソンの業績を評価する上でも有用な情報であると判断し、追加的に開示しております。

■ 2015年度の開示セグメントについて

2015年4月に、SE15後期 新中期経営計画の総仕上げと、2015年度の事業計画達成、および2016年度以降を見据えた最適フォーメーションを構築するため組織変更を実施しました。これに伴い、2015年度から開示セグメントを、マネジメント・アプローチに基づき変更いたしました。なお、2014年度の実績も、2015年度との比較説明に表示する場合は、新しい開示セグメントに合わせて記載しています。

■ 第2四半期累計期間の業績予想開示について

2016年度より、第2四半期累計期間については、業績予想の開示を行いません。

■ 本説明資料における表示方法

数値：表示単位未満を切り捨て

比率：円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入



2015年度 通期決算
2016年度 通期業績予想
2015年度 第4四半期決算詳細
2016年度 財務見通し
株主還元



2015年度 通期決算
2016年度 通期業績予想

2015年度 第4四半期決算詳細
2016年度 財務見通し
株主還元

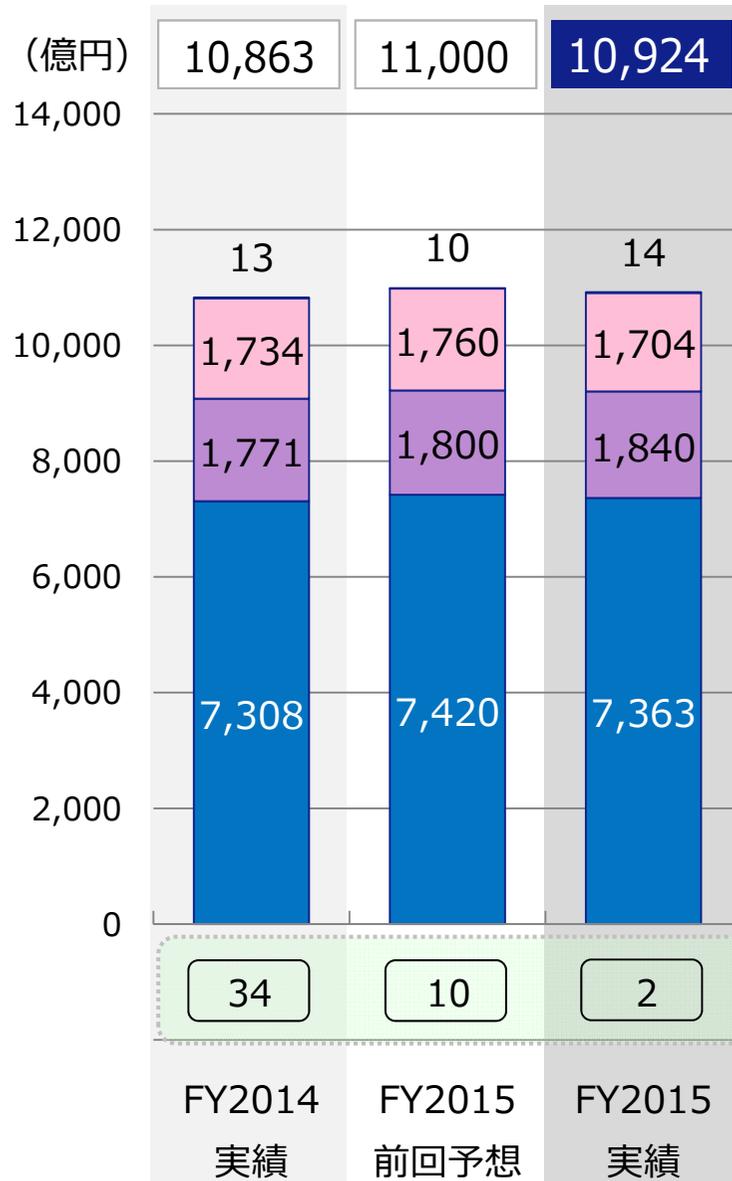
2015年度決算ハイライト

(億円)	2014年度		2015年度				前期実績比		1/29 予想比	
	実績	%	1/29予想	%	実績	%				
売上収益	10,863	-	11,000	-	10,924	-	+61 +0.6%	-	-75 -0.7%	
事業利益	1,012	9.3%	820	7.5%	849	7.8%	-163 -16.1%	-	+29 +3.6%	
営業利益	1,313 ※1(1,013)	12.1% (9.3%)	910	8.3%	940	8.6%	-373 -28.4%	(-72) (-7.2%)	+30 +3.3%	
税引前利益	1,325 (1,024)	12.2% (9.4%)	880	8.0%	915	8.4%	-410 -30.9%	(-109) (-10.7%)	+35 +4.0%	
当期利益	1,127 (827)	10.4% (7.6%)	600	5.5%	460	4.2%	-667 -59.2%	(-366) (-44.3%)	-139 -23.2%	
EPS ※2	314.61 円		167.70 円		127.94 円		※1 2014年度1Qの営業利益に、 一時的な利益となる年金制度 改定益約300億円を計上。 ()内は、各利益から年金 制度改定益を除いた参考値。			
換 算 レ ー ト	USD	109.93 円	120.00 円		120.14 円					
	EUR	138.77 円	132.00 円		132.58 円					

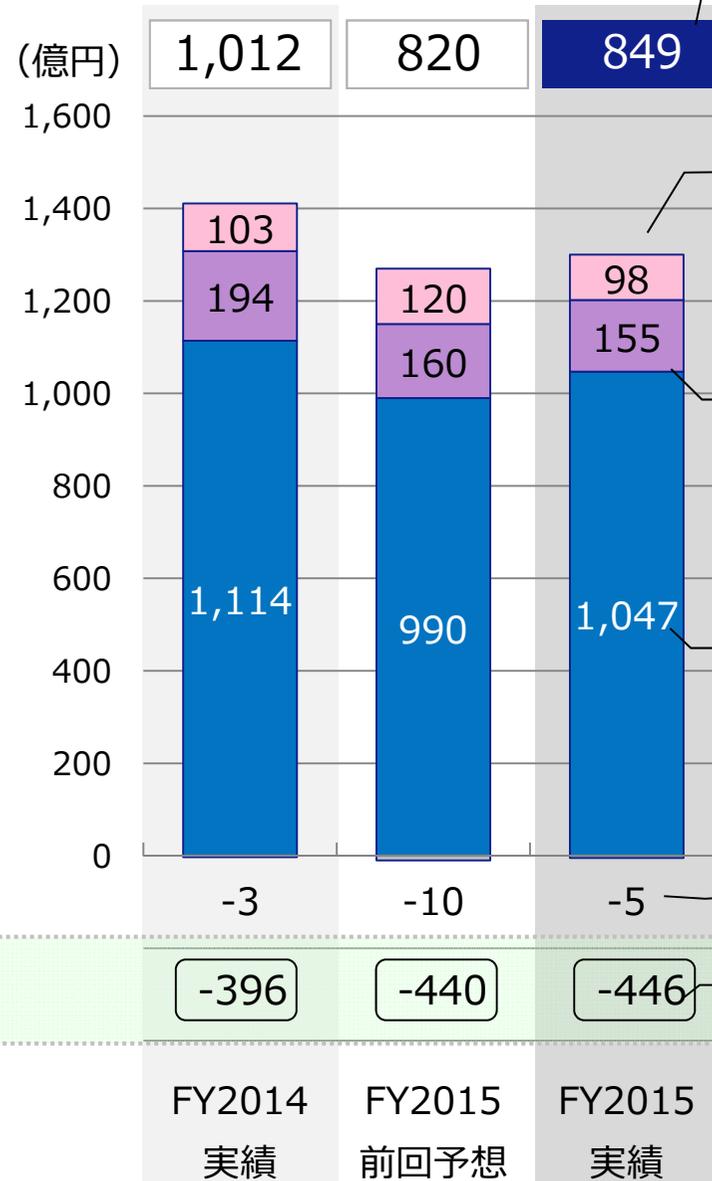
※2 2015/4/1を効力発生日として1株につき2株の割合をもって株式分割を実施。EPSは、株式分割後の発行済み株式数（自己株式除く）により算出

2015年度 実績▶ 事業セグメント別

通期 売上収益



事業利益



連結合計

売上収益	+61
事業利益	-163

ウェアラブル・産業プロダクツ

売上収益	-30
事業利益	-5

ビジュアルコミュニケーション

売上収益	+68
事業利益	-38

プリンティングソリューションズ

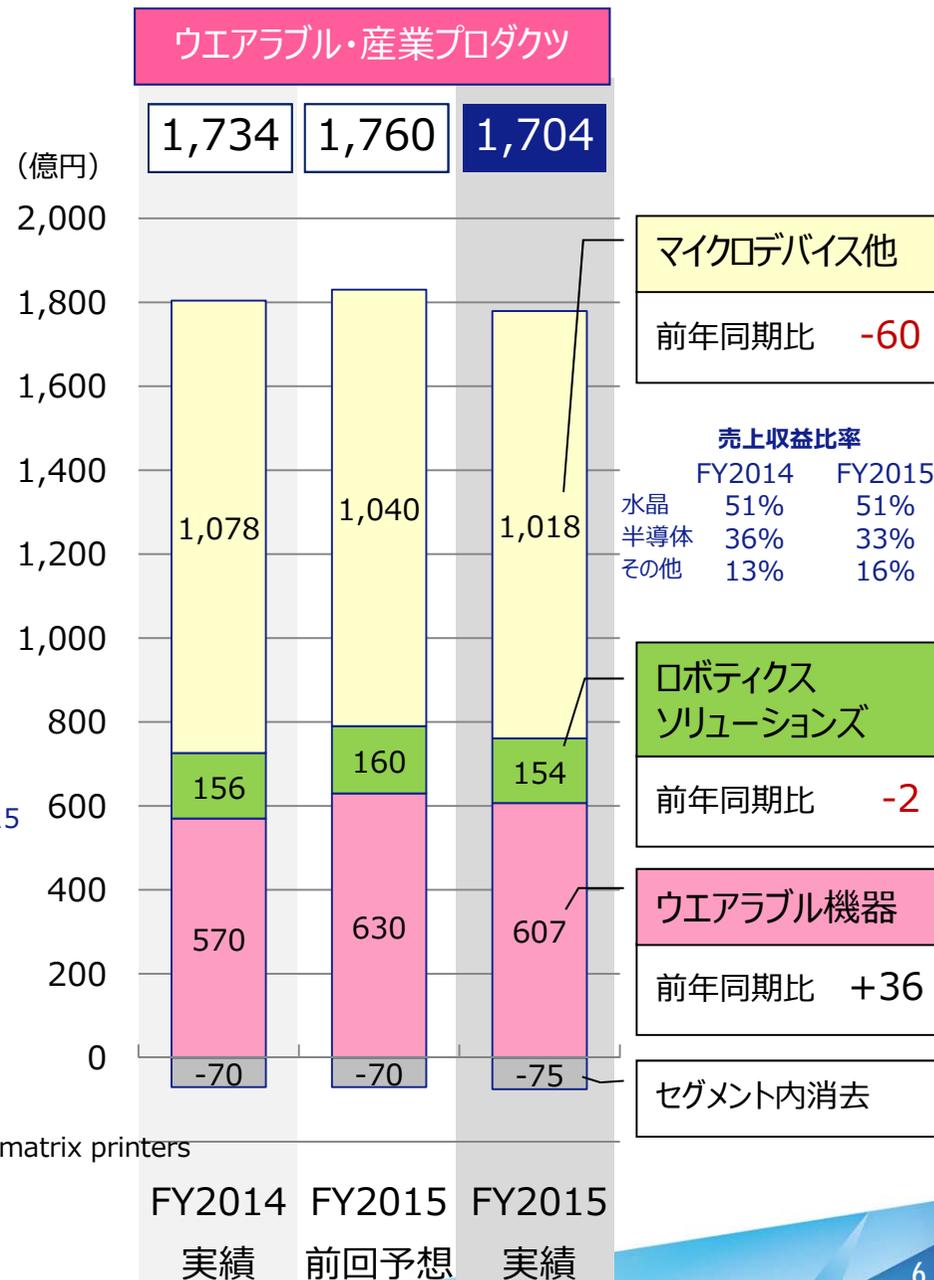
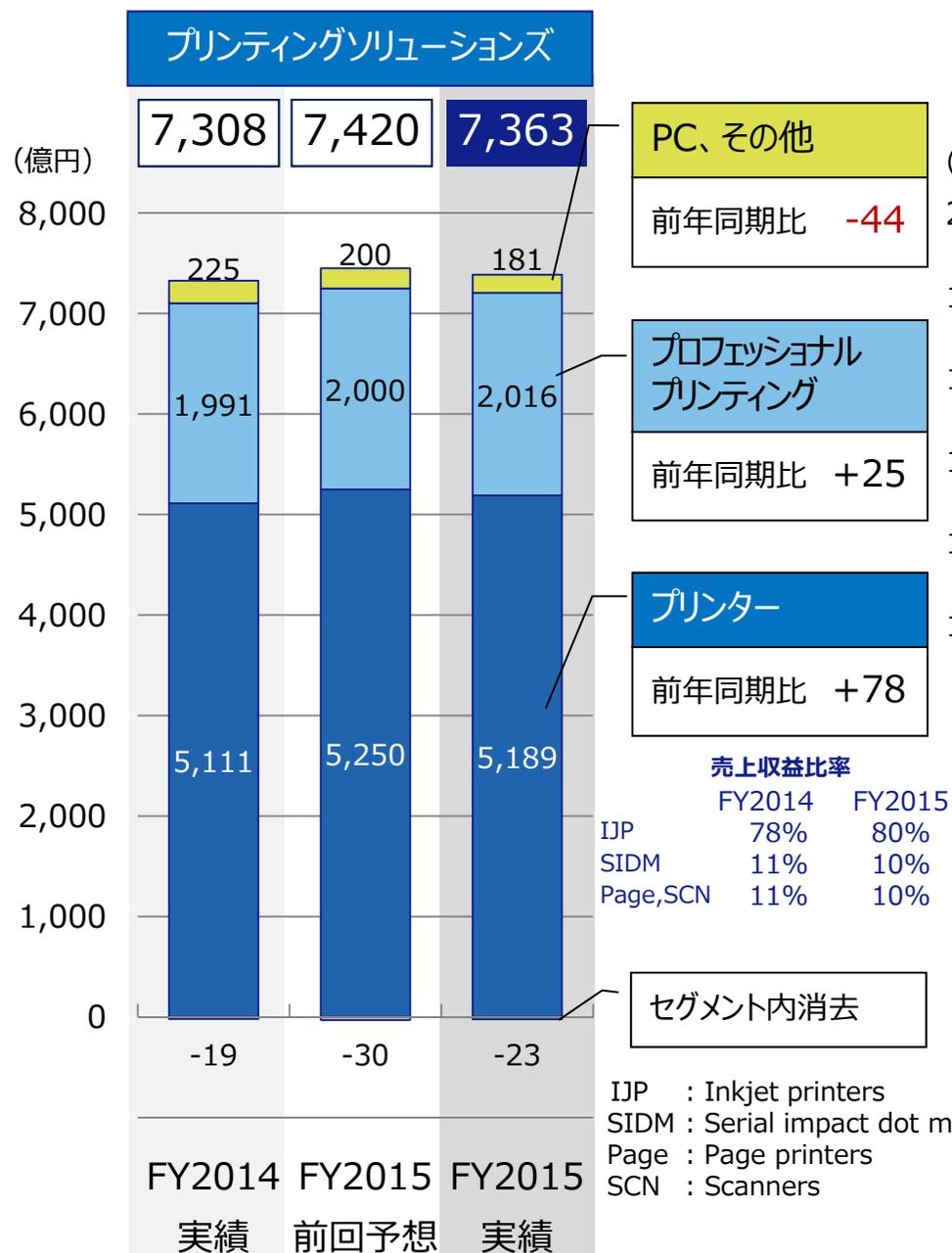
売上収益	+55
事業利益	-67

その他

全社費用・調整額

売上収益	-31
事業利益	-50

2015年度 実績▶ 事業別売上収益



- 下期は事業環境が厳しさを増したが、戦略に基づく取り組みは着実に実施
- 将来成長を担う商品の開発
 - － レーザー光源を搭載した高光束プロジェクター
 - － 6軸ロボットの新しいシリーズ（Nシリーズ）
 - － オフィス製紙機PaperLab
 - － ラインヘッド搭載インクジェットプリンターの開発
- 戦略的投資・費用の投下
 - － 設備投資：694億円（前期比+239億円）
フィリピン、インドネシア工場能力増強へ
 - － 販売促進費・広告宣伝費：549億円（前期比+63億円）
 - － 研究開発費：531億円（前期比+53億円）



- **プリンティングソリューションズ**
 - インクジェットプリンターは、競合プロモーション強化による価格低下も、大容量インクタンクモデルが好調、MIFの質改善によりインク売上も増加
 - SIDMは、市場が緩やかに縮小するも、中国徴税需要が安定的に推移
 - 大判プリンターは、市況低迷も、成長分野開拓の準備が進展
 - POSプリンターは、堅調に推移
- **ビジュアルコミュニケーション**
 - プロジェクターは、市場低迷も販売数量を伸ばし、プレゼンスはさらに向上
- **ウェアラブル・産業プロダクツ**
 - ウォッチは、インバウンド需要を取り込み、中高価格商品が伸長
 - ロボットは、スマートフォン組立用途の端境期も、用途、お客様が拡大
 - マイクロデバイスは、下期に入り市況低迷

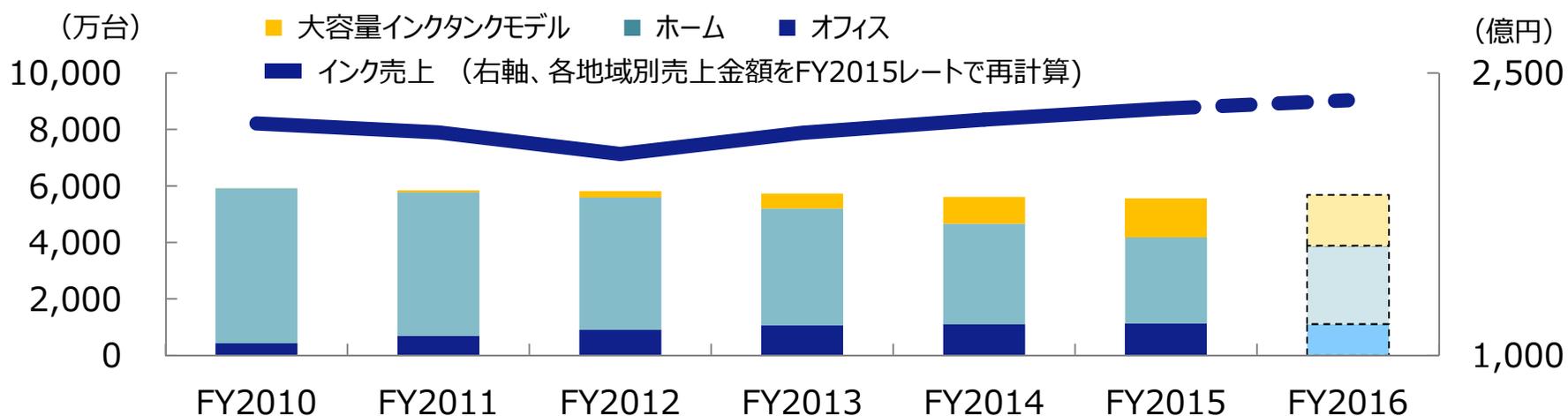
*MIF : Machines in field（本体稼働台数）



2015年度の総括（IJP戦略の進捗）

- インク売上収益は安定的に推移
 - エマージング地域・先進国ホームの減少を先進国オフィスが補完
- 大容量インクタンクモデルは順調に拡大

＜IJP本体販売台数（4年累計）とインク売上収益*推移＞



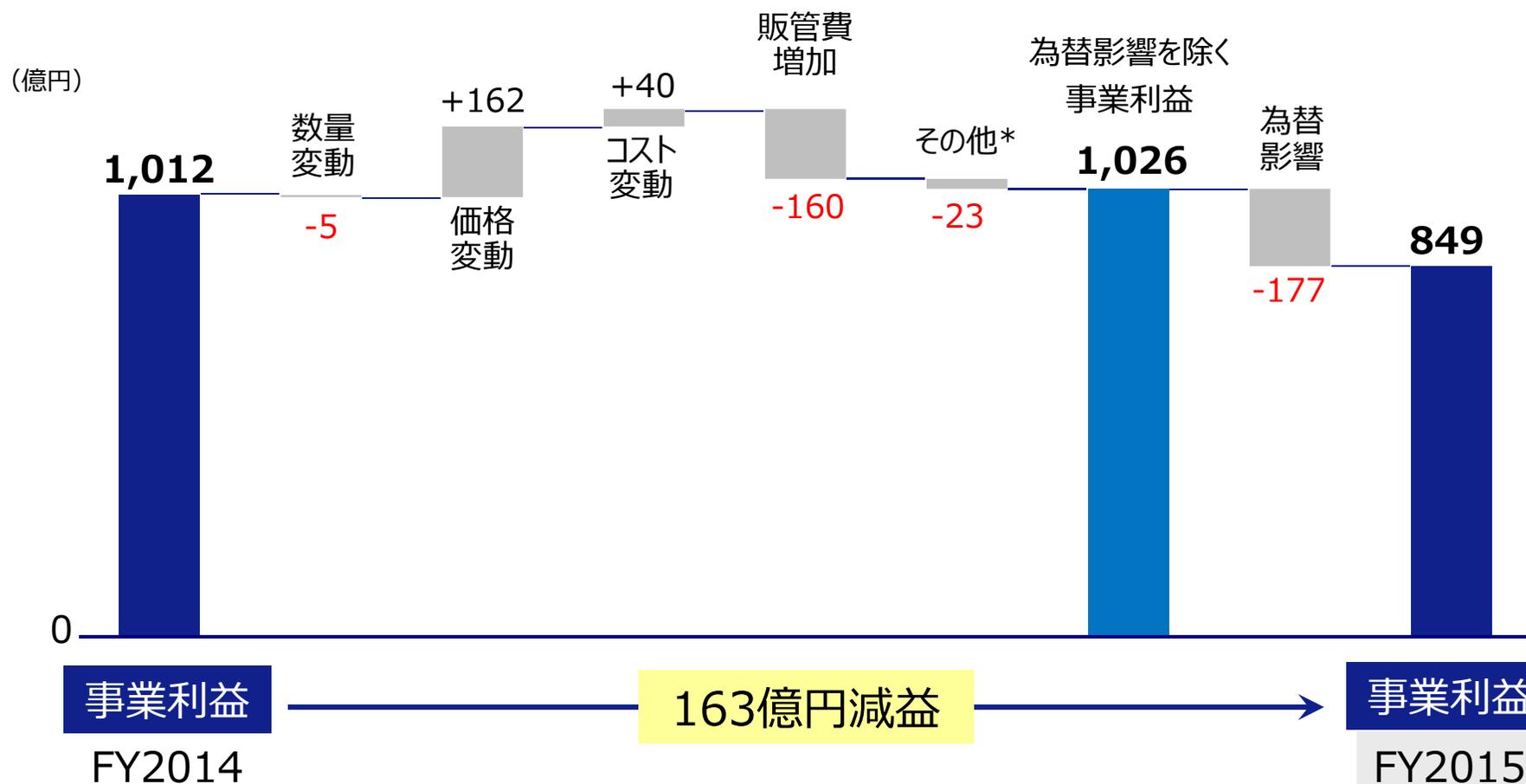
*本体販売時に同梱されているインクは含まれない

＜大容量インクタンクモデルの販売台数推移＞



事業利益増減の要因分析（通期）

- 為替変動の影響を除くと、将来成長に向けた戦略的投資・費用投下を実施した上で、事業利益は前期比増益



注) 2015年度第2四半期決算において、増減要因の算出方法を変更しています。
第1四半期にさかのぼり、再計算した結果を表示しています。

* : 全社費用セグメント及び各セグメントにおいて類似商品同士の比較に適さない商品・事業の増減の総計

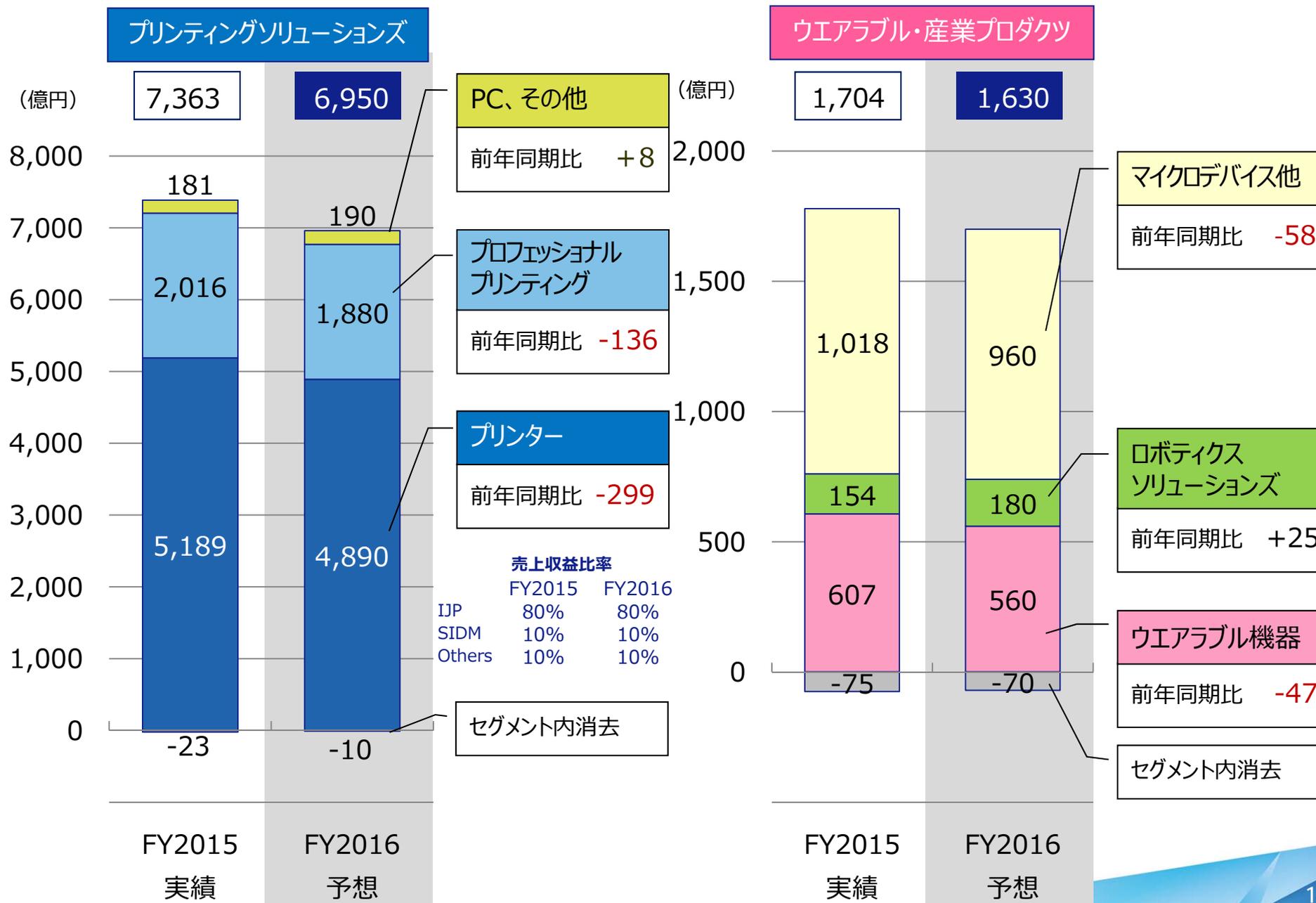
2016年度 業績予想

(億円)	2015年度		2016年度		増減額	増減率
	通期実績	%	通期予想	%		
売上収益	10,924	-	10,300	-	-624	-5.7%
事業利益	849	7.8%	720	7.0%	-129	-15.2%
営業利益	940	8.6%	700	6.8%	-240	-25.6%
税引前利益	915	8.4%	690	6.7%	-225	-24.6%
当期利益	460	4.2%	540	5.2%	+79	+17.2%
EPS	127.94 円		150.93 円			
換算 レート	USD	120.14 円	105.00 円			
	EUR	132.58 円	120.00 円			

為替推移と売上収益・事業利益への影響額

通貨		2014年度 実績 (円)	2015年度 実績 (円)	2016年度 予想 (円)	2016年度 為替感応度 (売上収益 事業利益)
米国ドル	USD	109.93	120.14	105.00	※1円の円安による年間影響額 +28億円 △3億円※
ユーロ	EUR	138.77	132.58	120.00	+13億円 +9億円※
人民元	CNY	17.74	18.85	USDと同様の 水準で設定	1%の円安による年間影響額 +26億円 +10億円
インドルピー	INR	1.81	1.85		
メキシコペソ	MXN	7.96	7.23		
ブラジルレアル	BRL	44.39	33.53		
その他	-	-	-		
対前期 為替影響額 連結合計	売上収益	-	+148億円	△約1,000億円	
	事業利益	-	△177億円	△約230億円	

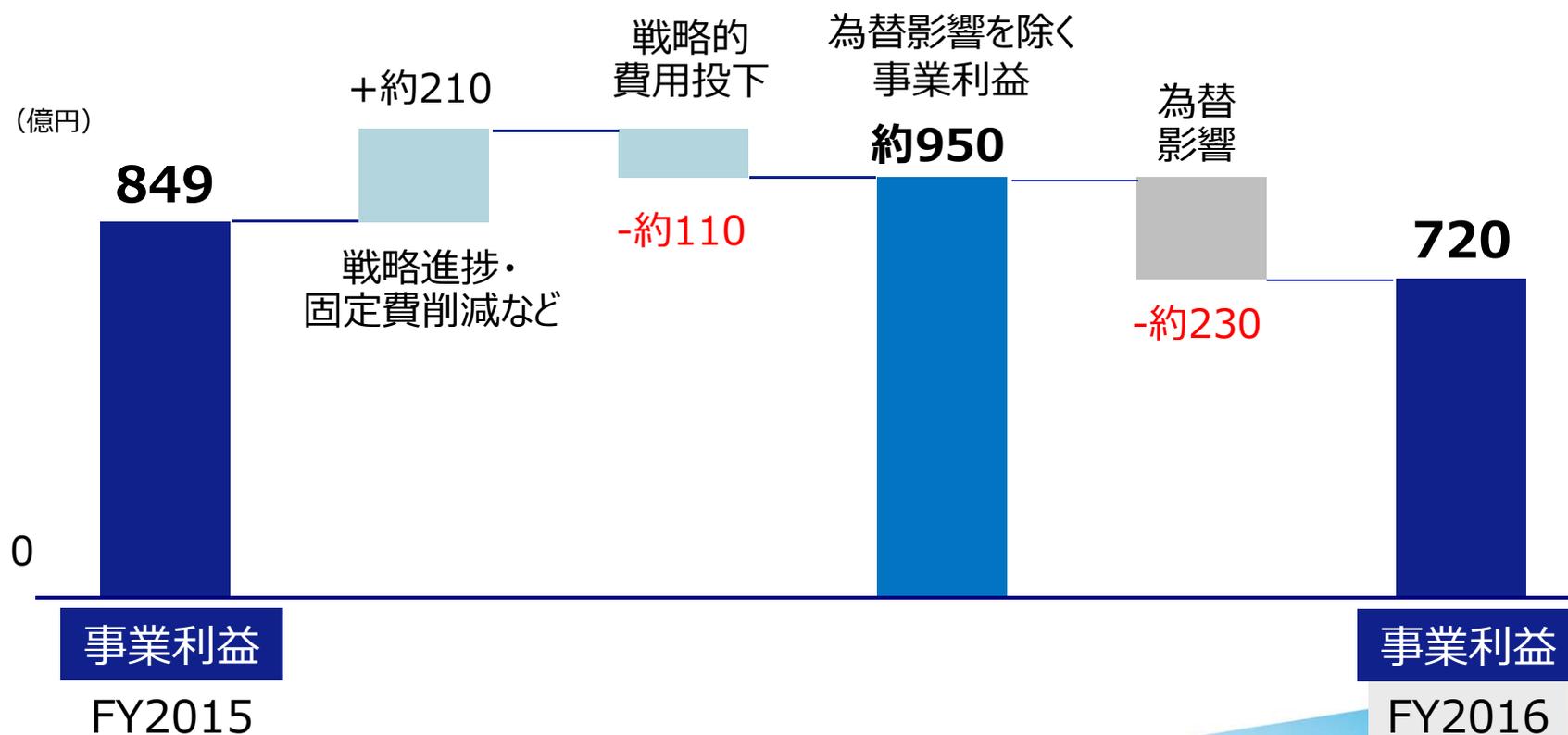
2016年度業績予想・事業別売上収益



- **プリンティングソリューションズ**
 - 大容量インクタンクモデルの拡大継続による収益確保
 - ラインヘッド搭載インクジェットプリンターの投入準備
 - SIDMにおける中国の徴税制度改定に対する着実な対応
 - プロフェッショナルプリンティングの成長分野における着実な成長
- **ビジュアルコミュニケーション**
 - 既存分野でのプレゼンス強化とレーザー光源搭載モデルによる高光束分野の拡大
- **ウェアラブル・産業プロダクツ**
 - ウェアラブル機器における事業基盤強化と個性ある商品の創出
 - ロボットにおける、市場拡大の機を捉えた着実な拡大
 - マイクロデバイスは、強みを生かして完成品の価値向上に貢献

2016年度の事業利益 要因分解

- 戦略の進捗による成果を見込むとともに、戦略的な投資・費用投下を実施
 - 研究開発では積極的な新商品・要素開発を実施
 - 設備投資強化による減価償却費の増加
 - 成長分野での販売体制強化
- 為替変動の影響を除く事業の実態では利益成長は継続





2015年度 通期決算
2016年度 通期業績予想

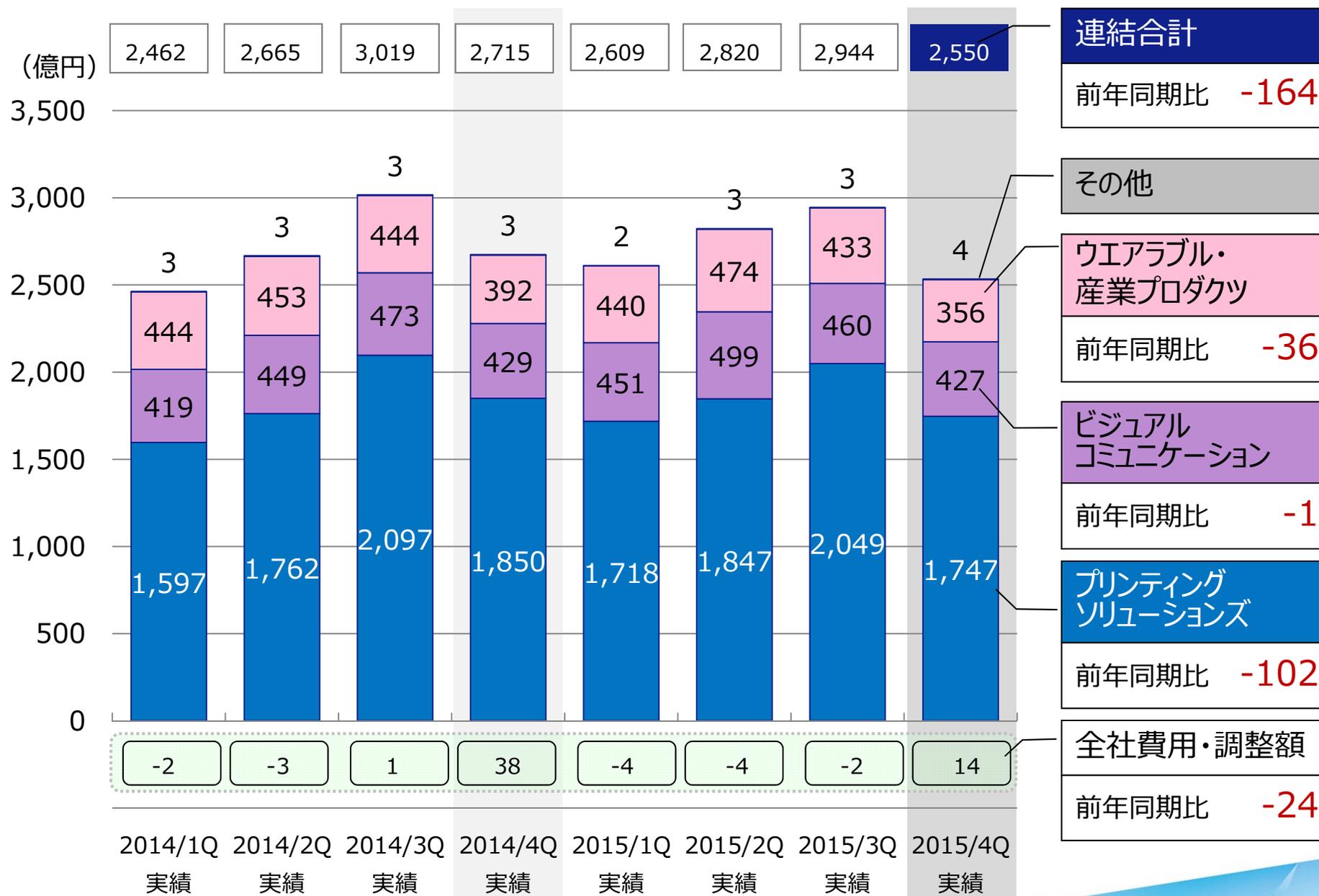
2015年度 第4四半期決算詳細
2016年度 財務見通し
株主還元

決算ハイライト（第4四半期）

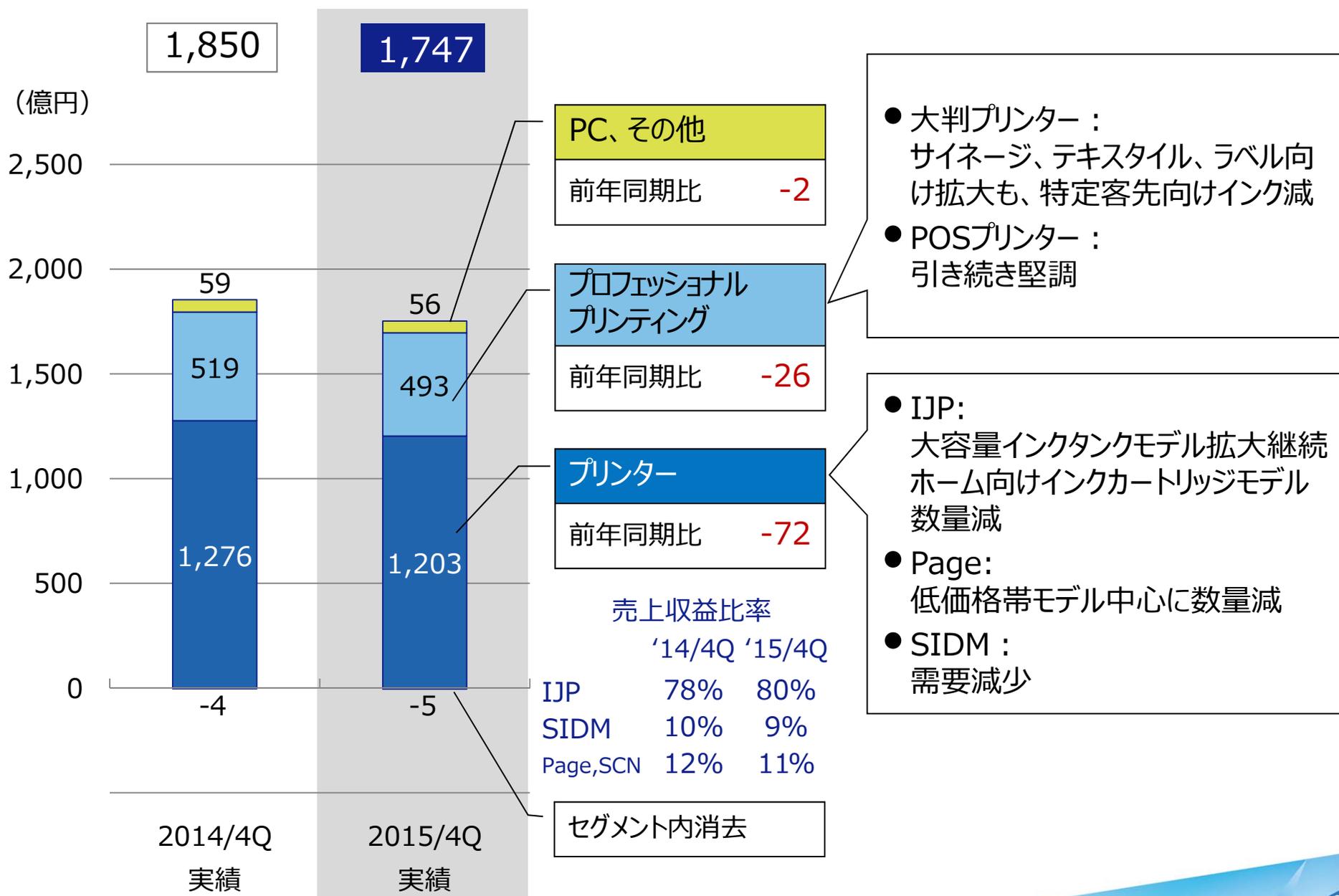
(億円)	2014年度		2015年度		増減額	増減率
	4Q実績	%	4Q実績	%		
売上収益	2,715	-	2,550	-	-164	-6.1%
事業利益	158	5.8%	121	4.8%	-36	-22.9%
営業利益	207	7.6%	121	4.8%	-85	-41.5%
税引前 四半期利益	199	7.3%	112	4.4%	-86	-43.7%
四半期利益	221	8.2%	-91	-3.6%	-313	-
EPS ※1	61.72 円		-25.70 円			
換算 レート	USD	119.09 円	115.48 円			
	EUR	134.18 円	127.22 円			

※1 2015/4/1を効力発生日として1株につき2株の割合をもって株式分割を実施。EPSは、株式分割後の発行済み株式数（自己株式除く）により算出

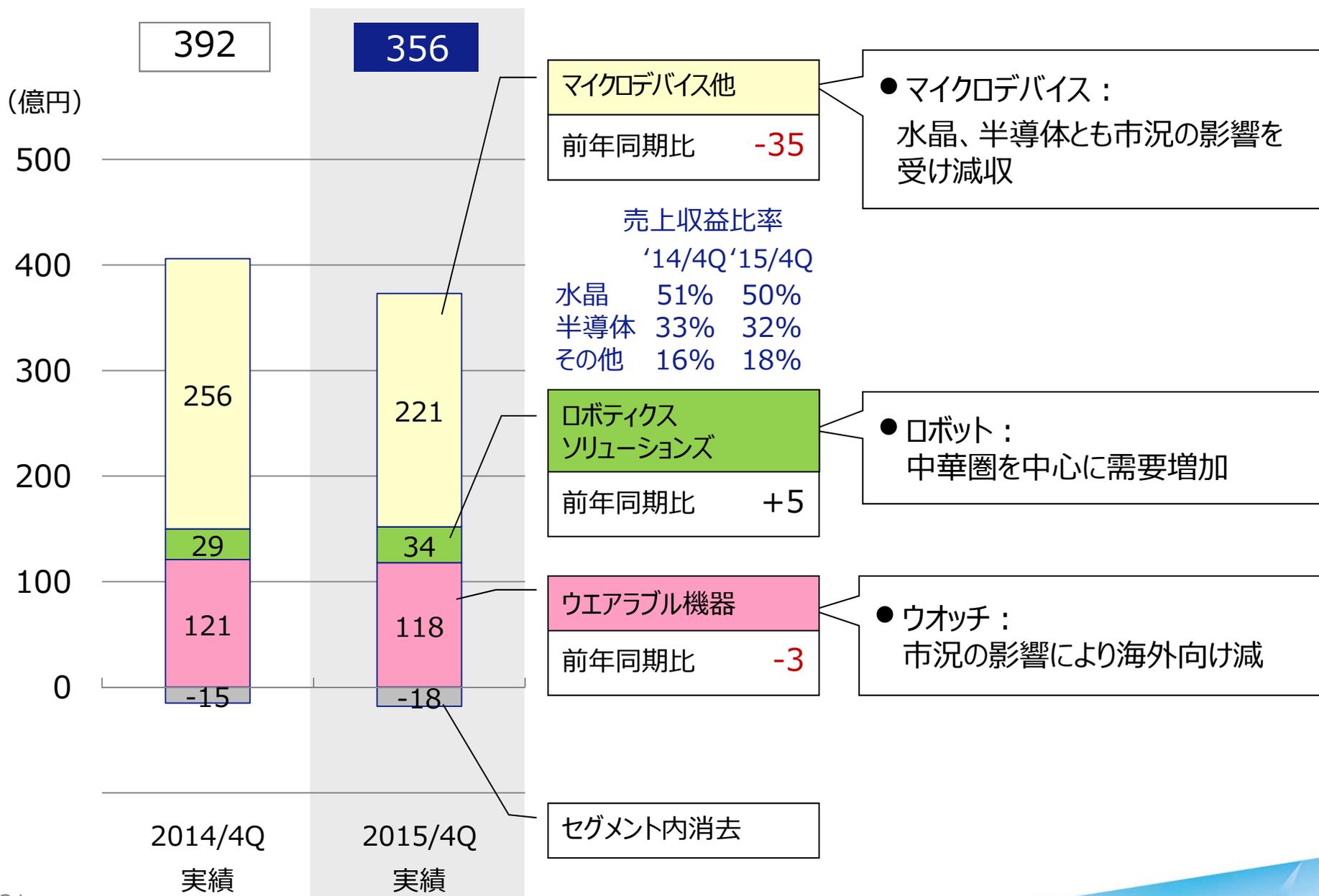
四半期売上収益推移 ▶ 事業セグメント別



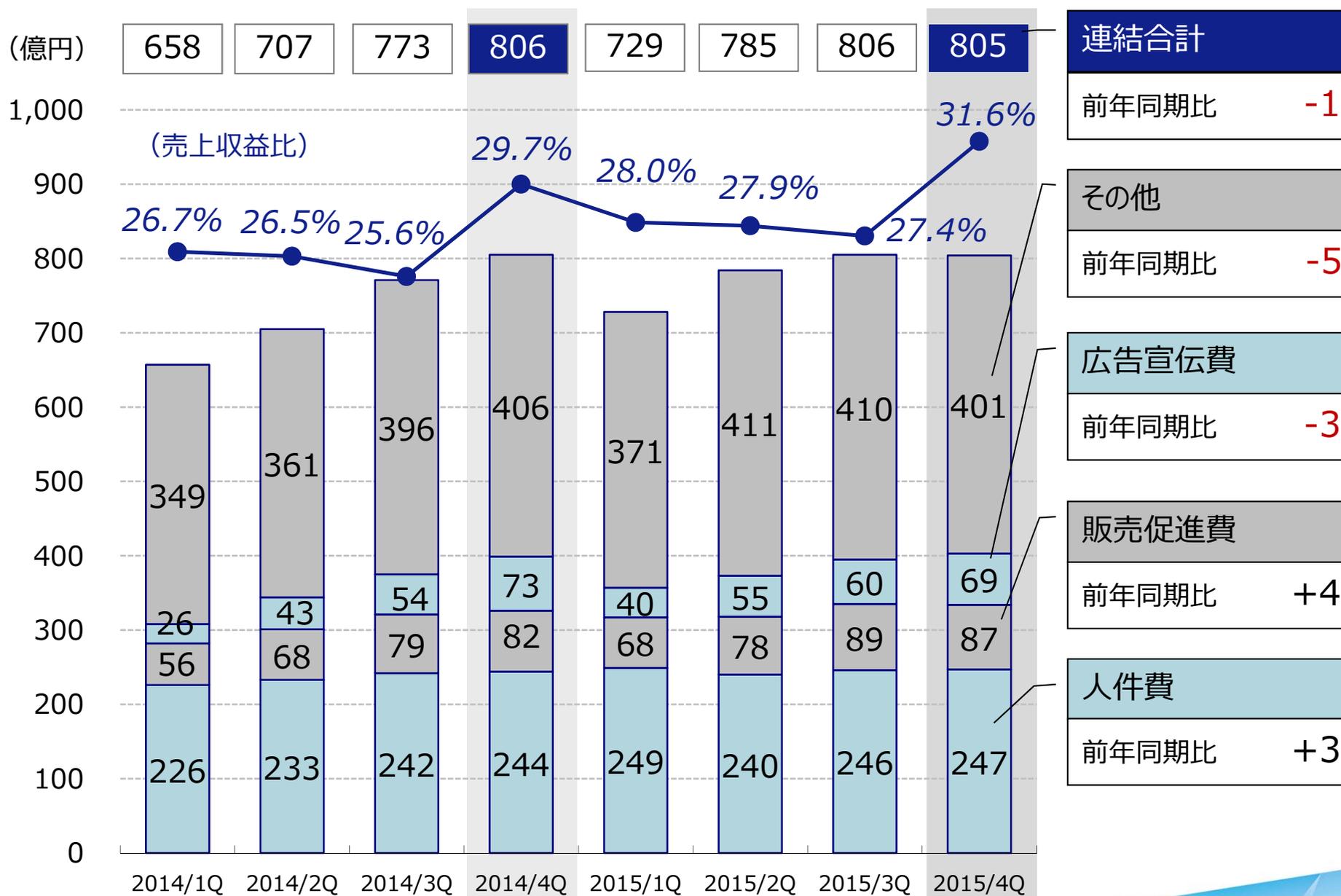
四半期売上収益比較 ▶ プリンティングソリューションズ



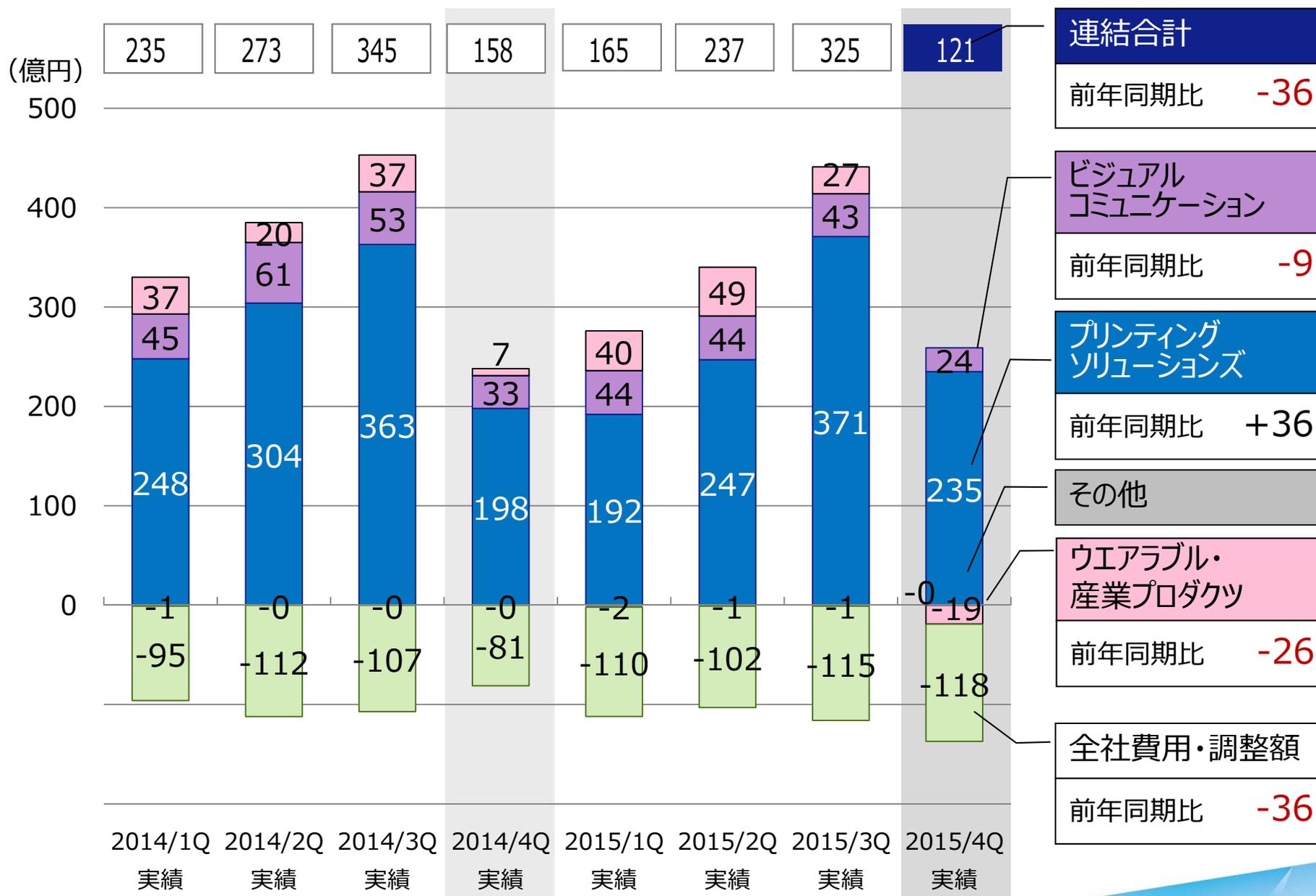
四半期売上収益比較 ▶ ウェアラブル・産業プロダクツ



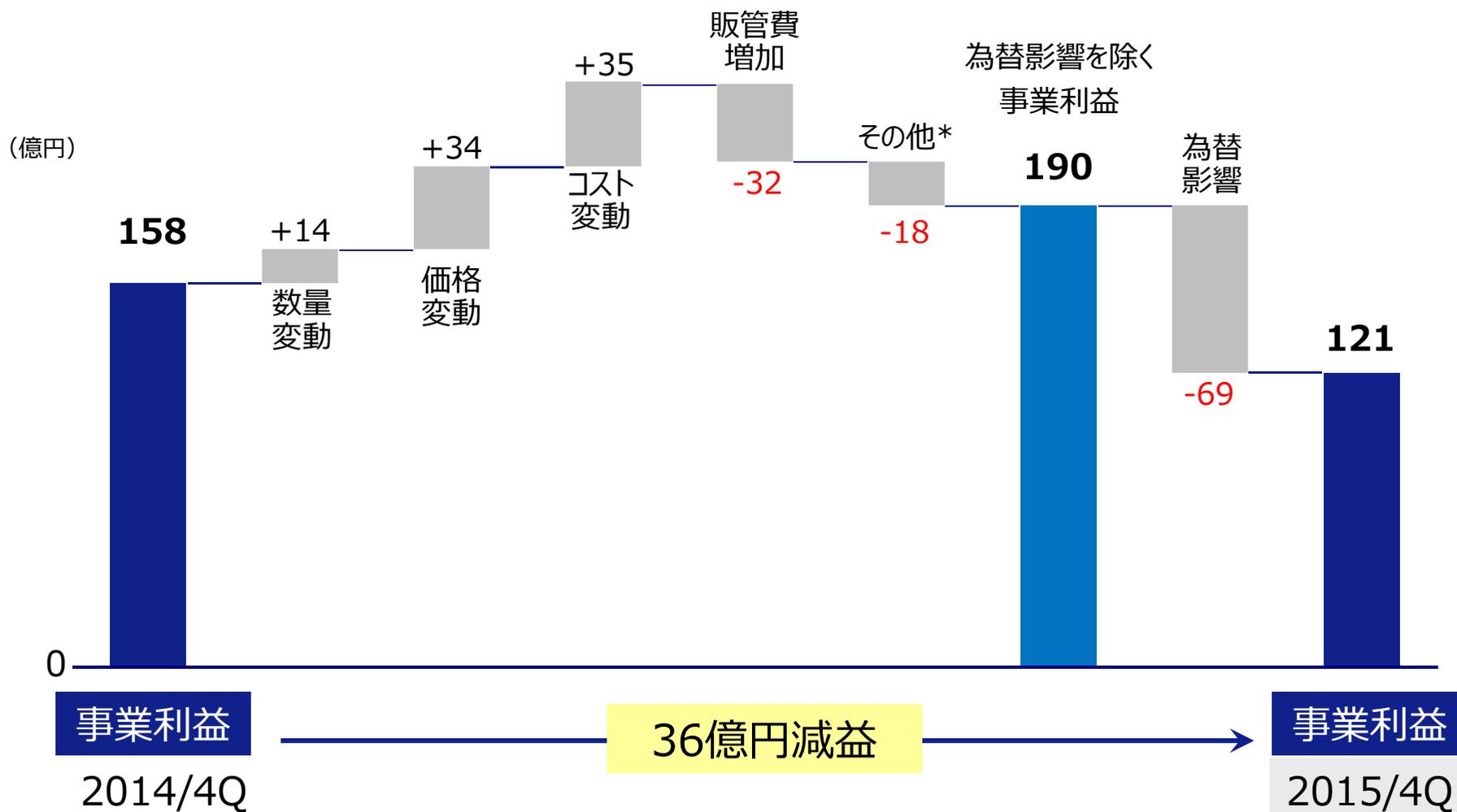
四半期販売費及び一般管理費推移



四半期事業利益推移 ▶ 事業セグメント別

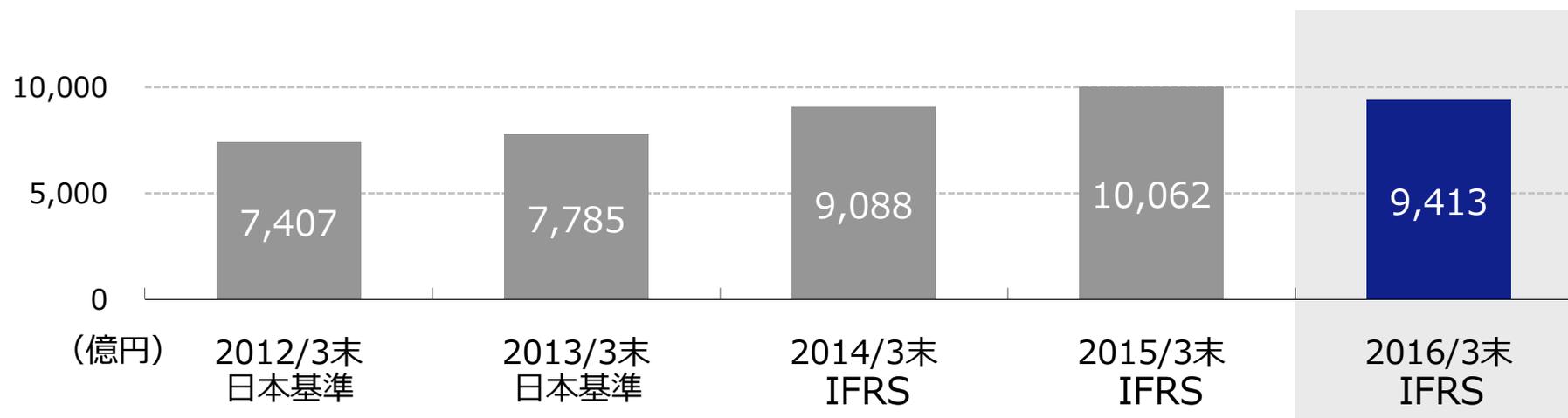


第4四半期 事業利益増減要因分析

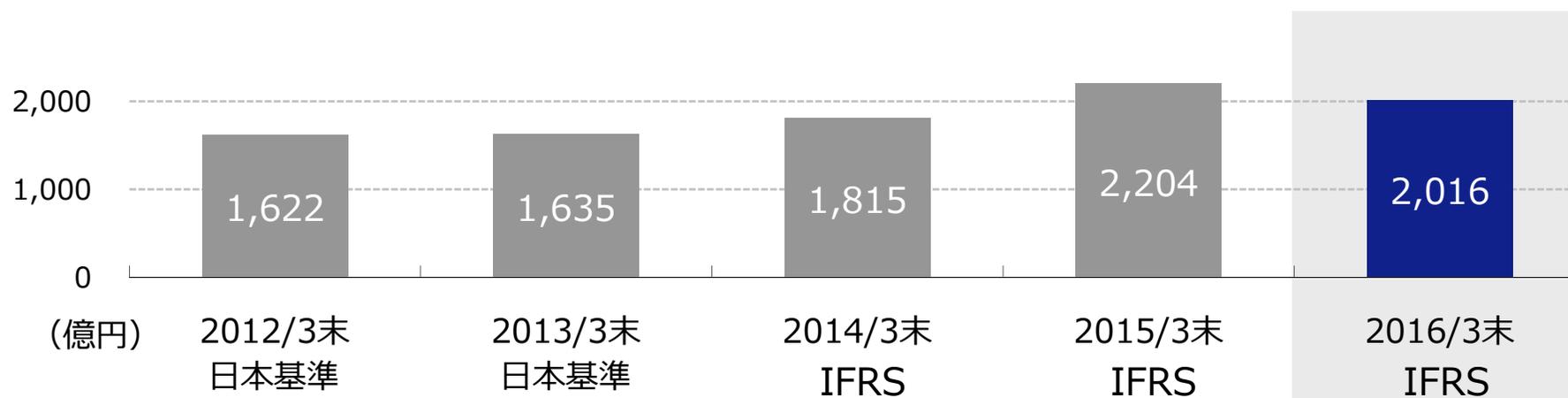


* : 全社費用セグメント及び各セグメントにおいて類似商品同士の比較に適さない商品・事業の増減の総計

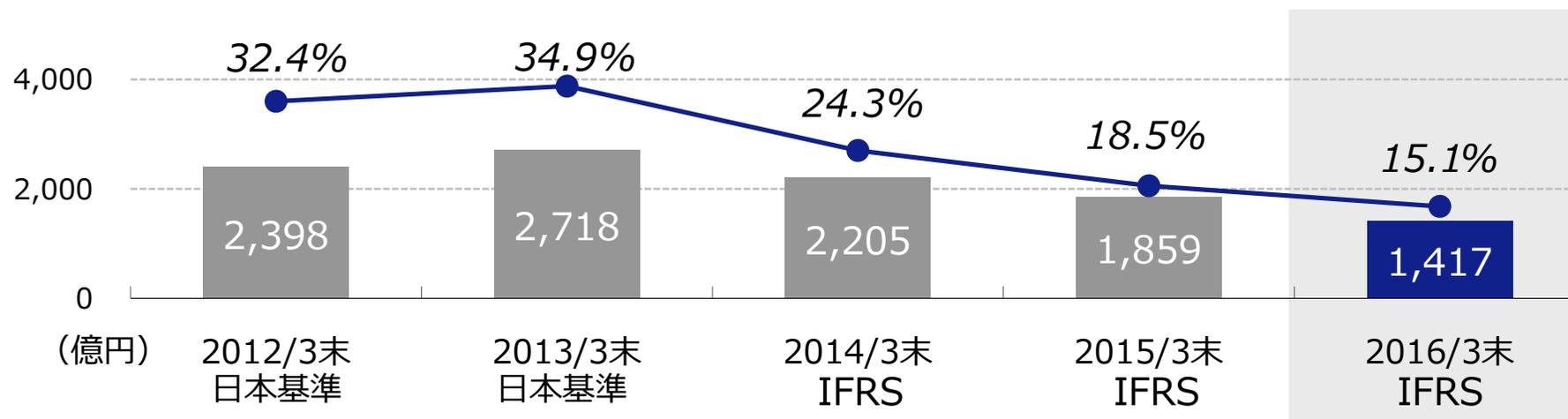
資産合計（総資産）



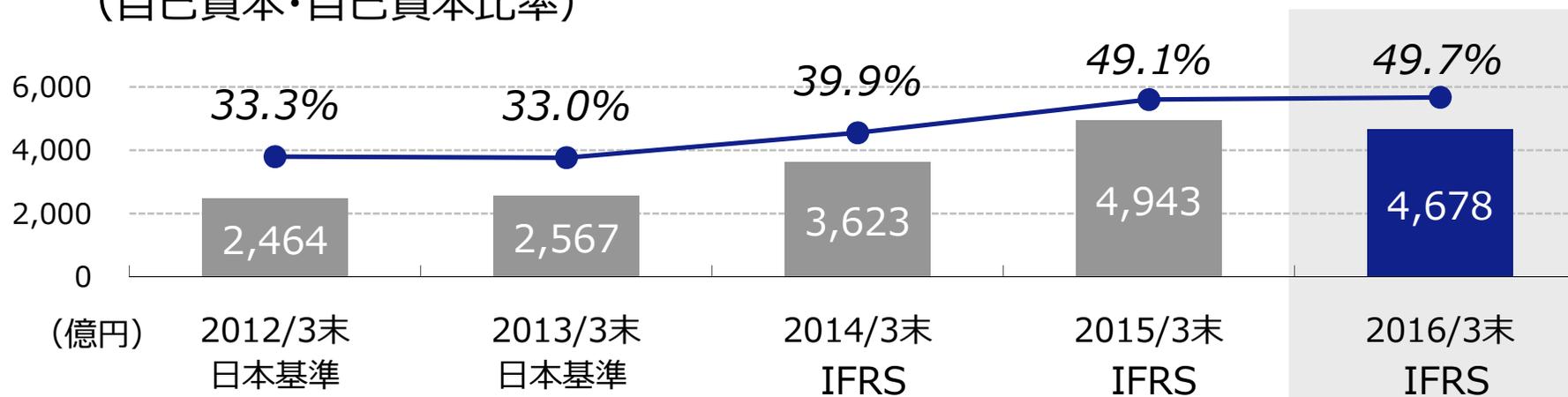
棚卸資産



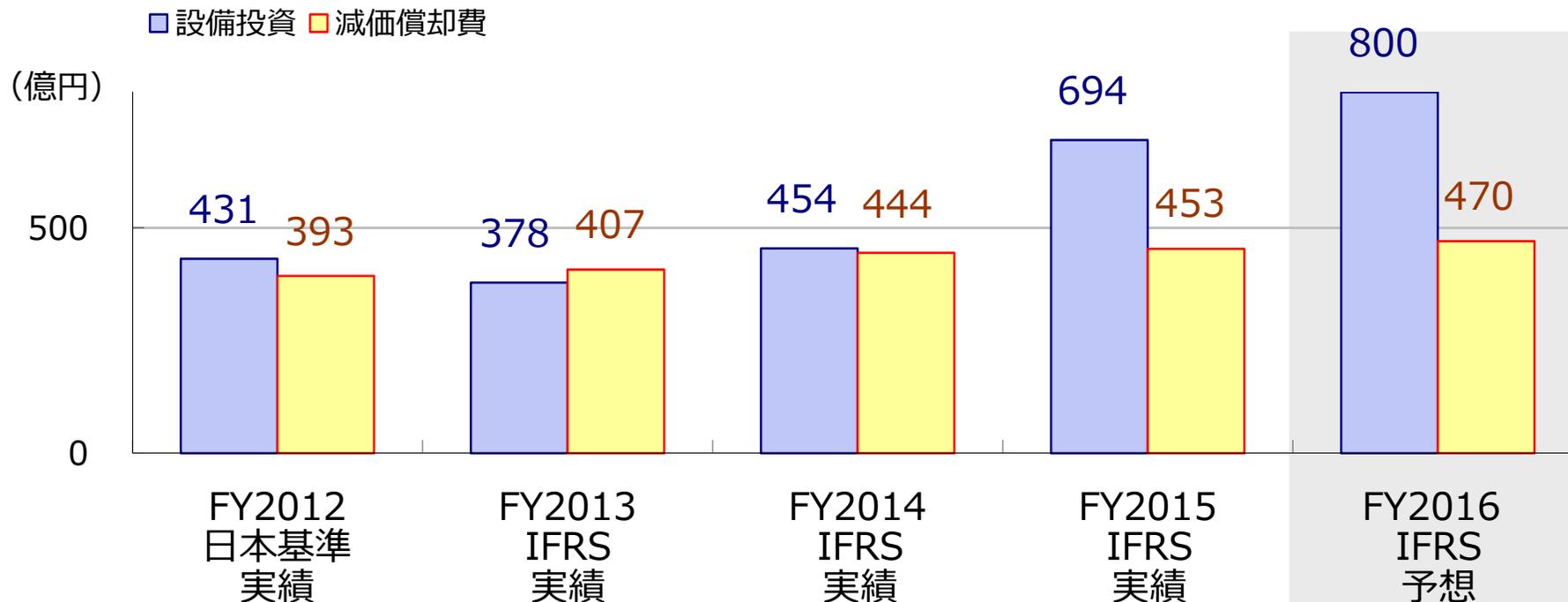
有利子負債・有利子負債依存度



親会社の所有者に帰属する持分・親会社所有者帰属持分比率 (自己資本・自己資本比率)

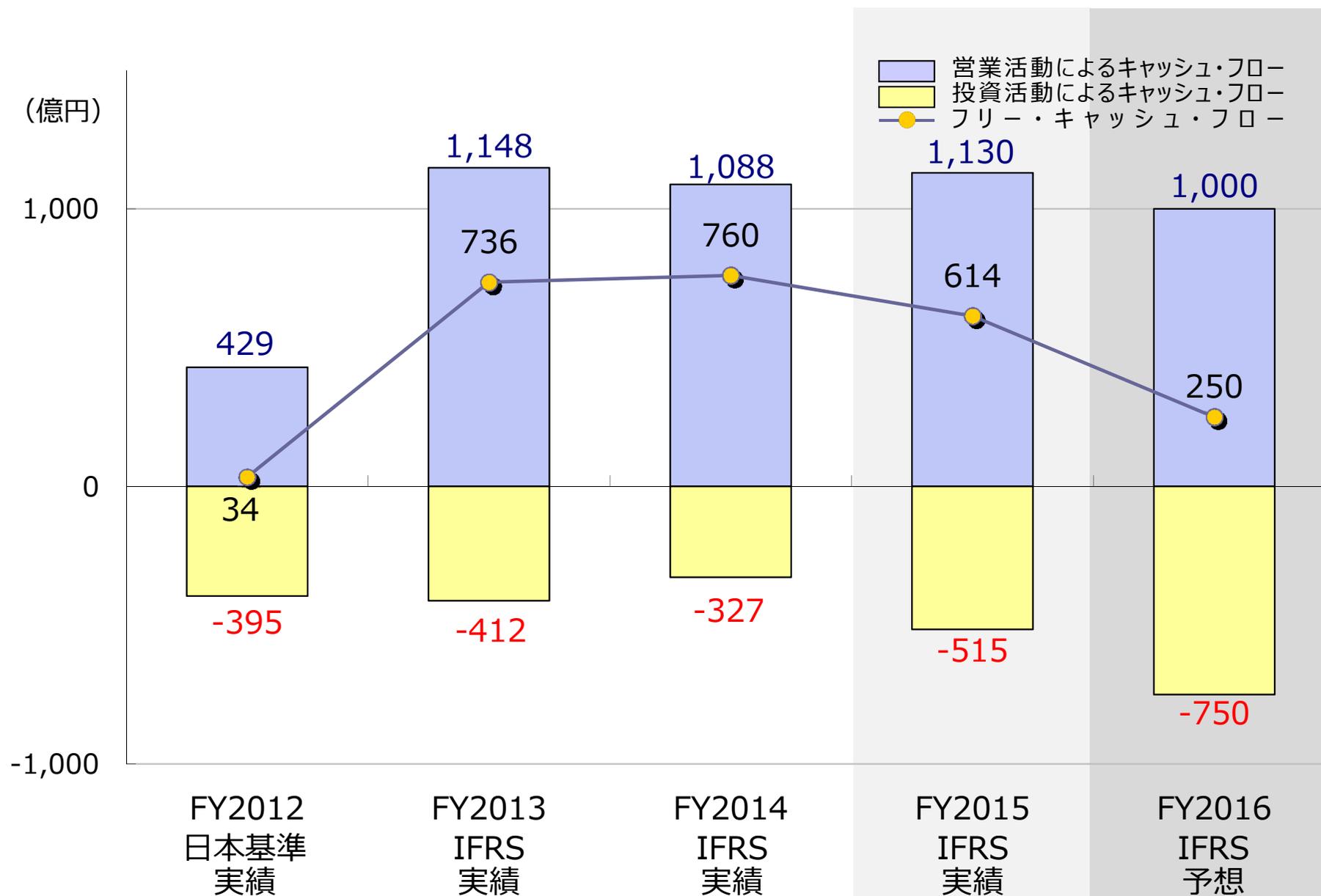


設備投資・減価償却費見通し

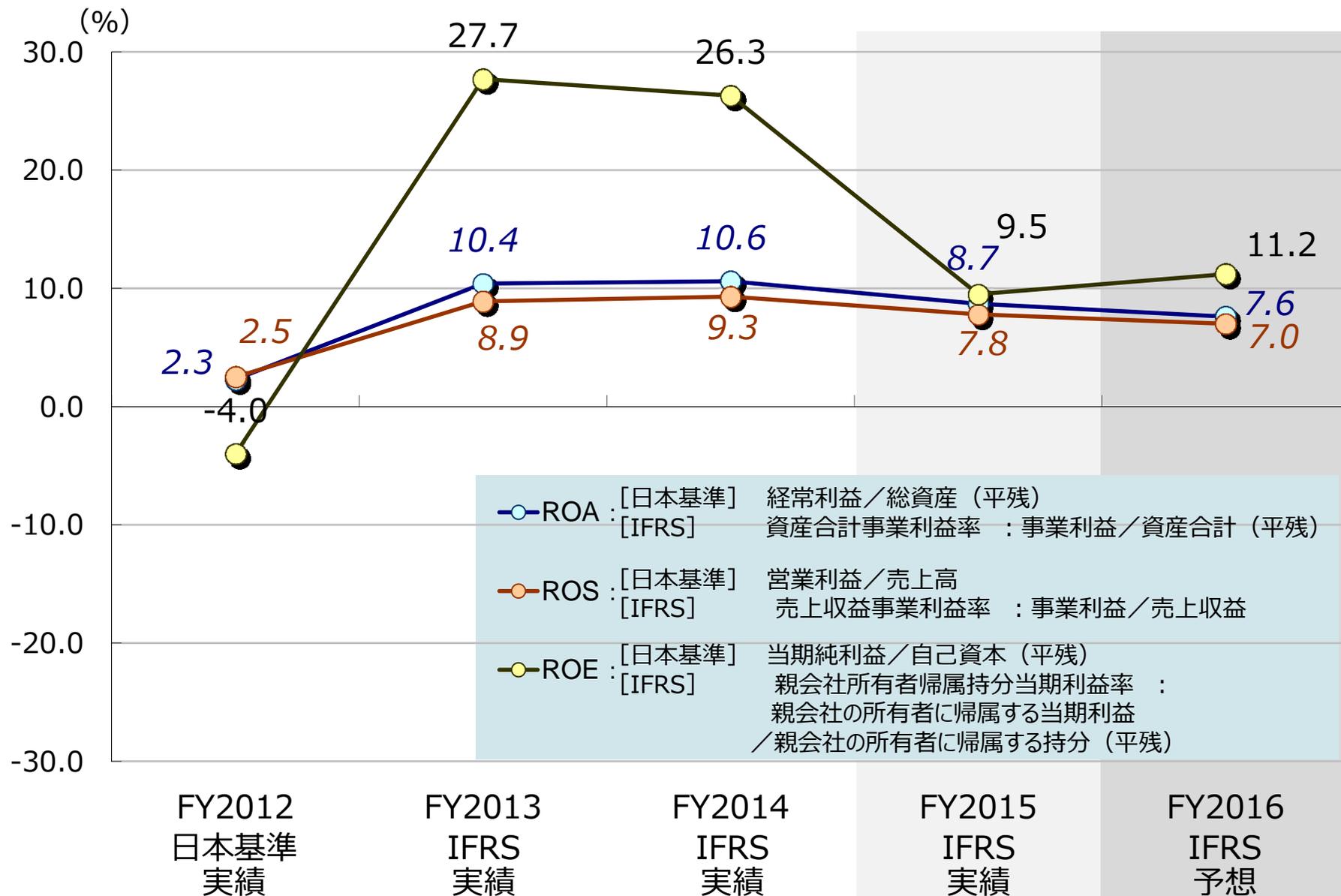


<セグメント別内訳>	FY2015 実績		FY2016 予想	
	設備投資	減価償却費	設備投資	減価償却費
プリンティングソリューションズ	366	241	460	250
ビジュアルコミュニケーション	107	74	110	80
ウェアラブル・産業プロダクツ	102	81	110	90
その他・全社費用	117	56	120	50

フリー・キャッシュ・フロー見通し



主な経営指標の推移

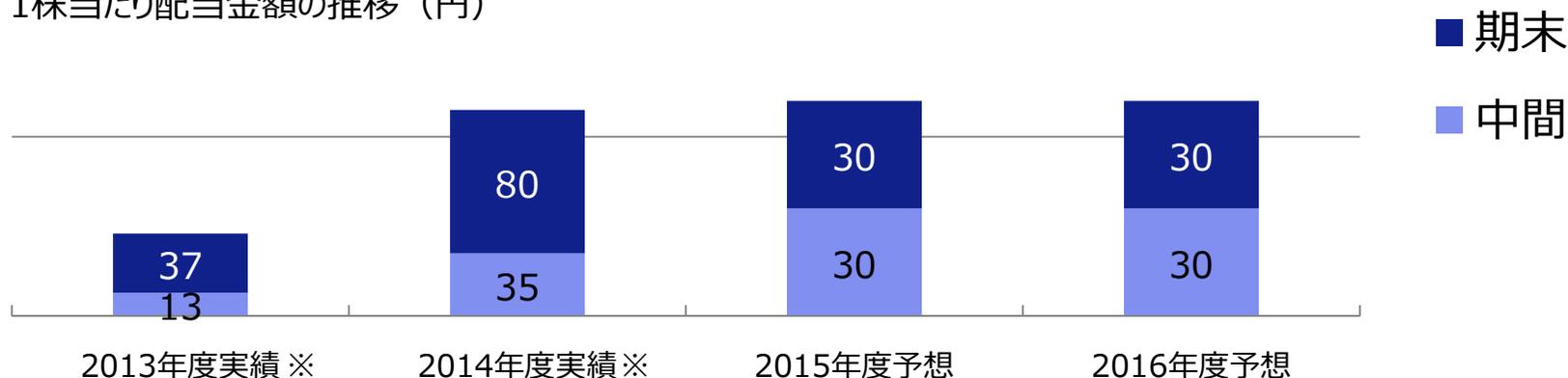


- 自己株式の取得
 - 基本方針である、より積極的な株主還元の実施を目指し、自己株式取得を実施

取得対象株式の種類	当社普通株式
取得し得る株式の総数	7,000,000株（上限）
株式の取得価額の総額	100億円（上限）
取得期間	2016年5月2日～2016年6月30日
取得方法	証券会社による取引一任方式

配当実績・予想

1株当たり配当金額の推移（円）



※当社は2015年4月1日に1:2の株式分割を実施しました。グラフの高さは分割後の水準で表示しています

補足資料

主な業績指標

		FY2015 実績	FY2016 予想	FY2018 目標	項目	FY2015 実績	FY2016 予想	Epson 25 第1期累計
プリンティング ソリューションズ	売上収益	7,363	6,950	8,050	営業CF	1,130億円	1,000億円	3,300億円 程度
	事業利益	1,047	930	-	FCF	614億円	250億円	1,200億円 程度
ビジュアル コミュニケーション	売上収益	1,840	1,730	2,000				
	事業利益	155	150	-				
ウェアラブル・ 産業プロダクツ	売上収益	1,704	1,630	1,950	設備投資	694億円	800億円	2,100億円 程度
	事業利益	98	110	-	研究開発費	531億円	570億円	積極的に投下
その他	売上収益	14	10	0	為替前提			
	事業利益	-5	-10	-				
全社・調整額	売上収益	2	-20	0		FY2015 実績	FY2016 予想	Epson 25 第1期中期
	事業利益	-446	-460	-	USD	¥120.14	¥105.00	¥115.00
					EUR	¥132.58	¥120.00	¥125.00
連結合計	売上収益	10,924	10,300	12,000				
	事業利益	849	720	960				
	ROS	7.8%	7.0%	8%				
	ROE	9.5%	11.2%	継続的に 10%以上				

主要商品の販売動向

FY2015実績(FY2014比)・FY2016予想(FY2015比)

ASP,売上金額は日本円換算後

商品		FY2015 1Q	FY2015 2Q	FY2015 3Q	FY2015 4Q	FY2015 1H	FY2015 2H	FY2015 1Y	FY2016 1Y(予想)
IJP 本体	数量	+3%	+6%	-1%	-1%	+4%	-1%	+1%	+6%
	数量構成比 オフィス/ 大容量	-	-	-	-	-	-	約20%/ 約35%	約20%/ 40%弱
	ASP	+10%台前半	+1桁%台後半	-1桁%台半ば	-1桁%台半ば	+10%程度	-1桁%台半ば	+1桁%台前半	-1桁%台後半
	売上金額	+10%台半ば	+10%台前半	-1桁%台半ば	-1桁%台後半	+10%台半ば	-1桁%台半ば	+1桁%台前半	-1桁%台前半
IJP インク	数量	+2%	-1%	-1%	+2%	0%	0%	0%	-
	ASP	+1桁%台後半	+10%程度	+1桁%台前半	-1桁%台前半	+1桁%台後半	前年同期並み	+1桁%台半ば	-
	売上金額	+1桁%台後半	+1桁%台後半	+1桁%台前半	前年同期並み	+1桁%台後半	前年同期並み	+1桁%台半ば	-1桁%台後半
SIDM 本体	数量	+3%	-8%	-6%	-12%	-3%	-9%	-6%	+15%
	ASP	+10%台前半	+10%台前半	-1桁%台前半	-1桁%台後半	+10%台前半	-1桁%台半ば	+1桁%台前半	-10%台後半
	売上金額	+10%台半ば	+1桁%台前半	-1桁%台後半	-10%台後半	+1桁%台後半	-10%台半ば	-1桁%台前半	-1桁%台半ば
プロジェクター	数量	-5%	+5%	-1%	+8%	0%	+3%	+2%	+4%
	ASP	+10%台半ば	+1桁%台後半	前年同期並み	-1桁%台後半	+10%台前半	-1桁%台半ば	+1桁%台前半	-10%台前半
	売上金額	+1桁%台後半	+10%台前半	-1桁%台前半	前年同期並み	+10%台前半	前年同期並み	+1桁%台半ば	-1桁%台後半

本資料は、エプソン内部の管理値に基づく指標です。

EPSON
EXCEED YOUR VISION